



NPO法人 西東京臨床糖尿病研究会

MANO a MANO

～「mano a mano」とはスペイン語で「手から手へ」という意味です～

当研究会の間接事業の一つである「武蔵野糖尿病医療連携の会」について、
評議員 辻野元祥先生よりご紹介いただきます。

武蔵野糖尿病医療連携の会について

東京都立府中病院内科 辻野元祥

日頃から糖尿病に関する医療連携にご協力いただいている先生方やスタッフの皆様にはこの場を借りて厚く御礼申し上げます。

さて、この度は私どもの関わっている武蔵野糖尿病医療連携の会について少しばかりご紹介させていただきたいと思えます。

糖尿病は患者さんの数も多く、複数の病院、診療所の関わる医療連携の必要性が繰り返し強調されていますが、実際には難しいことも多いのではないのでしょうか。結局は、病院の医師も責任者だけでなく、若手の医師も含めて、他の医療機関と顔の見える交流を重ねていくことが真に重要なのだと思えます。

一方、糖尿病診療の実際ということを考えてときに、教科書的内容との間に隔たりの多い部分を感じます。こんな場合のことは教科書には載っていないが実際はどうしているのだろう。そうしたすき間を実際に埋めていく、明日から直ちに役に立つ、そんな研究会、講演会は少ない、との思いもあります。“建前ではなく本音で語る糖尿病診療の会”のようなものがあれば、と感じていました。

伊藤眞一先生、近藤甲斐夫先生にご指導いただき、1997年7月に前身の糖尿病病診連携推進会が発足した時に、上記の2点を会の方向性として意識してきました。以降、年2回の会合を重ね、次回の11月20日で13回目を迎えます。西東京警察病院の桑木綱一先生、立川相互病院の住友秀孝先生はじめ、近隣7市の医師会理事の先生にも世話人に入ってください、毎回、30-40名の先生のご参加をいただけるまでに盛会となってきました。ご参加の先生から、この会は切り口がユニークだね、とのコメントをいただくと学術担当世話人としては嬉しく感じたりします。コメディカルの方の発表や、循環器、脳外科、眼科など、他の分野の先生方にもお話しいただき、糖尿病に関する話題を幅広く取り入れていきたいと考えています。

“すぐ効くよく効く糖尿病診療のツボ”を旗印にこれからも有意義な会にしていきたいと考えております。西東京臨床糖尿病研究会の皆様も多数の方々にご参加いただけるようお待ちしております。

お問合せは東京都立府中病院 辻野 (mtsujino@fuchu-hp.fuchu.tokyo.jp) まで

・間接事業研究会のご報告・

- ・ **第11回多摩糖尿病チーム医療研究会 薬剤師分科会** (6月23日開催)
報告 当研究会評議員 矢田 眞理子

「多摩糖尿病チーム医療研究会 (薬剤分科会)」

1999年6月に活動を始め、年2回開催。最新の内容と実務面を組み合わせた2部構成により研究会が開催されています。毎回開局薬剤師、病院薬剤師、他のコメディカルスタッフが多数参加していらっしゃいます。

6月23日に、国分寺Lホールで、間接事業の一つであります多摩糖尿病チーム医療研究会 薬剤師分科会を行いました。

第1部として当番世話人のきよせの森総合病院より、インスリン指導に於けるヒヤリハット、患者さまの受け取り方についての発表がありました。

第2部として緑成会病院の内科部長 調進一郎先生をコメンテーターにお迎えして、全員参加のグループディスカッション形式で症例を学びました。

今回は11回目ですが、初めての企画として1グループ数名に分かれ、調先生のご指導の下、楽しくグループディスカッションをしました。活発な意見交換が行われ、知識の向上と共に交流の場となりました。



- ・ **第15回 糖尿病連絡会** (7月14日開催)

「糖尿病連絡会」

年に2回、小平医師会、東村山医師会、東久留米医師会の後援のもと、公立昭和病院の講堂で症例検討と臨床に密着したレクチャーをおこなっています。毎回出席者の熱心な意見交換がおこなわれ、医療連携の基盤整備に重要な役割を果たしています。



7月14日に公立昭和病院の講堂において第15回糖尿病連絡会が開催されました。今回は藤枝医院 院長 藤枝賢晴先生に、「循環器疾患の予防と運動処方のポイント」と題してご講演いただきました。運動処方の特徴や注意点などをわかりやすくご紹介頂きました。その後、症例検討が行われブリヂストン東京診療所 多森芳樹先生、畑中医院 畑中恭子先生に日頃の糖尿病診療で悩んでいる症例、困っている症例をご呈示いただき、活発なディスカッションが行われました。参加された医師、コメディカルより大変参考になりましたとご好評頂きました。

開催情報

第5回糖尿病予防講演会 ～食事の大切さを考える～

- 日時：2004年9月11日（土） 14:00～17:40 □
 □ 場所：前進座、吉祥寺駅公園口下車徒歩10分、武蔵野市吉祥寺南町3-13-2 □
 □ 参加費：無料、定員先着500名 □

「家庭の食事を見直そう」 (株)バイワネル代表取締役 森野 真由美
 「体に良いという情報の受けとめ方」 群馬大学教育学部教授 高橋 久仁子
 「食事で糖尿病を予防する」 済生会中央病院内科部長 渥美 義仁
 「糖尿病の食事Q&A」（事例研究） 当研究会所属管理栄養士

*参加証明書を発行します。遅刻早退の場合は参加証明書を発行いたしかねますので、ご了承ください。

- ・日本糖尿病療養指導士 認定更新のための研修単位<第2群>1単位 認定番号04-278
- ・西東京糖尿病療養指導士 認定更新のための研修単位 2単位 認定番号 025号

NPO法人西東京臨床糖尿病研究会 第36回例会

テーマ「糖尿病診療における患者コミュニケーションを考える」

- 日時：2004年10月9日（土） 14:00～17:30 □
 □ 場所：いずみホール（370名収容）、JR西国分寺駅徒歩1分、国分寺市泉町3-36-12 □
 □ 参加費：NPO西東京臨床糖尿病研究会会員 無料、一般 ¥1,000円 □

第1部（14:05～15:25）

- I. コメディカルの立場から（14:05～14:45）座長 都立府中病院 西田 賢司
 1) 管理栄養士の立場から あいそ内科 桜庭 由美子
 2) 看護師の立場から 高村内科クリニック 坂山光湖
 II. 医師の立場から（14:25～15:25）座長 高村内科クリニック 高村 宏
 1) 私は患者さんにこう聞く、こう話す 畑中医院 畑中恭子
 2) 要指導患者に対する成人病予防教室開催の経験 西村医院 西村邦康

第2部（15:45～17:25）

1. 開業医院での患者満足度とコミュニケーション（50分）
 座長 伊藤内科クリニック 伊藤 眞一
 演者 ティー・エムマーケティング（株） 前田 泉
 2. 糖尿病患者さんとの治療同盟という関係について（50分）
 座長 青梅市立総合病院 原 義人
 演者 多摩みなみクリニック 宮川高一

*参加証明書を発行します。遅刻早退の場合は参加証明書を発行いたしかねますので、ご了承ください。

- ・日本糖尿病療養指導士 認定更新のための研修単位<第2群> 1単位
- ・西東京糖尿病療養指導士 認定更新のための研修単位 6単位

年間スケジュール

現時点での情報となりますので、追加変更がありましたら、順次掲載いたします。

- 9月11日(土) 第5回糖尿病予防講演会(前進座/吉祥寺)
14:00~17:40、無料
- 10月9日(土) NPO法人西東京臨床糖尿病研究会第36回例会(西国分寺)
14:00~17:30、会員無料、一般1,000円
- 9月28日~12月14日 西東京糖尿病療養指導士連続12回講座(立川アイム)
19:00~21:00、申込締め切りました。
(2005年2月13日(日)認定試験の予定です。)
- 10月20日(水) 糖尿病療養指導士のためのセミナー(1) (詳細は次号掲載)
- 11月23日(火) 糖尿病療養指導士のためのセミナー(2) (詳細は次号掲載)
- 12月8日(水) 第17回多摩糖尿病チーム医療研究会 (立川アイム)
19:00~

事務局からのお知らせ

☆会報記事の募集☆

会員の皆様から、会報に掲載してほしい話題がございましたら、事務局までお知らせ下さい。会報記事への要望、話題提供、研究会に出席した感想など、ファックス、メールでご寄稿下さい。

☆ホームページに「最新情報」のページが出来ました☆

<http://www.nishitokyo-dm.net/whatsnew.html>

常に最新情報がこのページに掲載されています。是非御覧下さい。

☆12回連続講座申し込み締め切りました☆

定員に達しましたので、12回連続講座申し込み締め切りました。以後、キャンセル待ちとなります。多数のお申込みありがとうございました。

会員数	413人
コメディカル	302人
医師	111人

管理栄養士派遣事業登録者数
34人

NPO法人 西東京臨床糖尿病研究会

〒185-0012 国分寺市本町3-10-22 オリエンツプラザ402

TEL: 042(322)7468 FAX: 042(322)7478

<http://www.nishitokyo-dm.net/>

E-mail: w_tokyo_dm_net@ybb.ne.jp